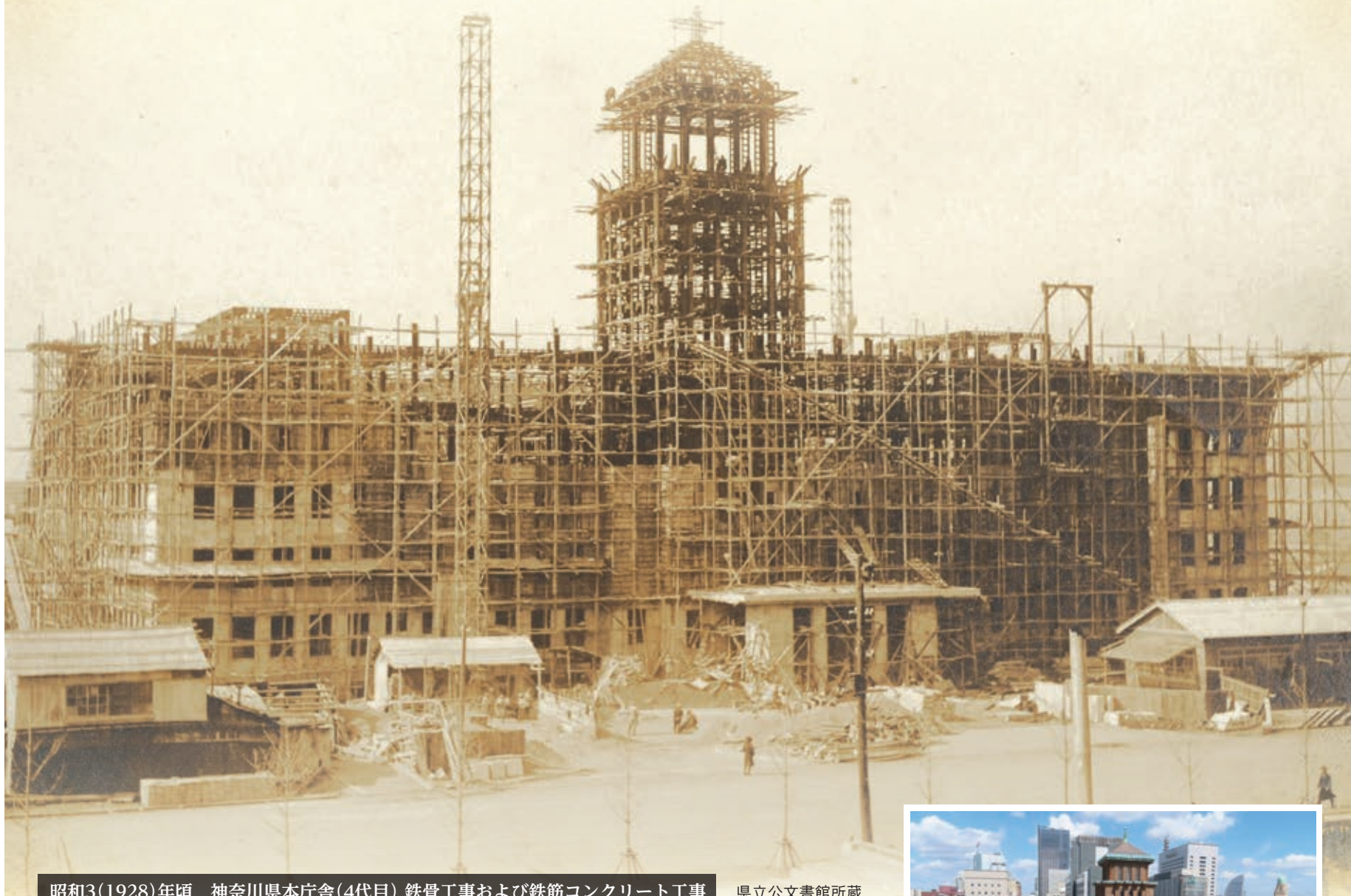


かながわの昭和100年 記憶の旅へ

令和8年に、昭和元年から起算して満100年を迎えます。昭和期の神奈川県は、関東大震災の復興から始まり、多くの方が犠牲となった戦災を経て、戦後には、飛躍的な経済発展を背景に人口が増加するなど、激動の時代を歩んできました。今日の魅力あふれる神奈川は、昭和の時代をたくましく生きた人々の努力や創意工夫が礎となって築かれています。「昭和100年」を迎えるこの機会に、かながわの昔を振り返りましょう。



昭和3(1928)年頃 神奈川県本庁舎(4代目) 鉄骨工事および鉄筋コンクリート工事

県立公文書館所蔵

横浜三塔の一つ「キングの塔」として親しまれている神奈川県本庁舎は、関東大震災後の昭和3年10月に竣工した4代目の庁舎で、県を代表する近代建築の一つです。タイル張りの壁面と独自の幾何学模様の装飾が施された外観はアール・デコ様式を基調としたもので、「キングの塔」は和風の塔や屋根を持つ「日本趣味」建築の先駆的事例ともいわれています。

本庁舎は、昭和初期から現在に至るまで本県の歩みを見守ってきました。



現在(令和元(2019)年国指定重要文化財)

【上記記事に関する問合せ】 県本庁舎については県庁舎管理課 ☎045(210)2610 FAX045(210)8812

昭和は多くの犠牲を払った先の大戦を経験した一方で、奇跡的な戦後復興により世界有数の経済大国へと発展を遂げた、激動の時代でした。

戦後の本県では、京浜工業地帯などに集積した企業群が日本経済の発展をリードする一方、深刻化した公害問題を住民、事業者、行政が協働して乗り越えるなど、常に課題を克服するプロセスを通じて、県民の皆さんの生活の質の向上を図ってきました。

また、県西部・県央部の地域住民の皆さんの絶大なるご協力により、早々と、相模、城山、三保、宮ヶ瀬の各ダムを整備したことにより、横浜、川崎などの大都市の発展を支えることができました。

今も、“水のさと かながわ”と呼ばれるように、年間を通じて、県全域において、水不足に悩まされることはほとんどありません。私たちは先人たちの先見性、連携と協調を旨としたご努力により、今の魅力あふれる神奈川があることを忘れてはなりません。

「昭和100年」のこの機会に、昭和を振り返り、先人たちから未来を切り拓く力の大切さを学びながら、一人ひとりのいのちが輝く未来をつくってまいりましょう。

神奈川県知事 黒岩祐治

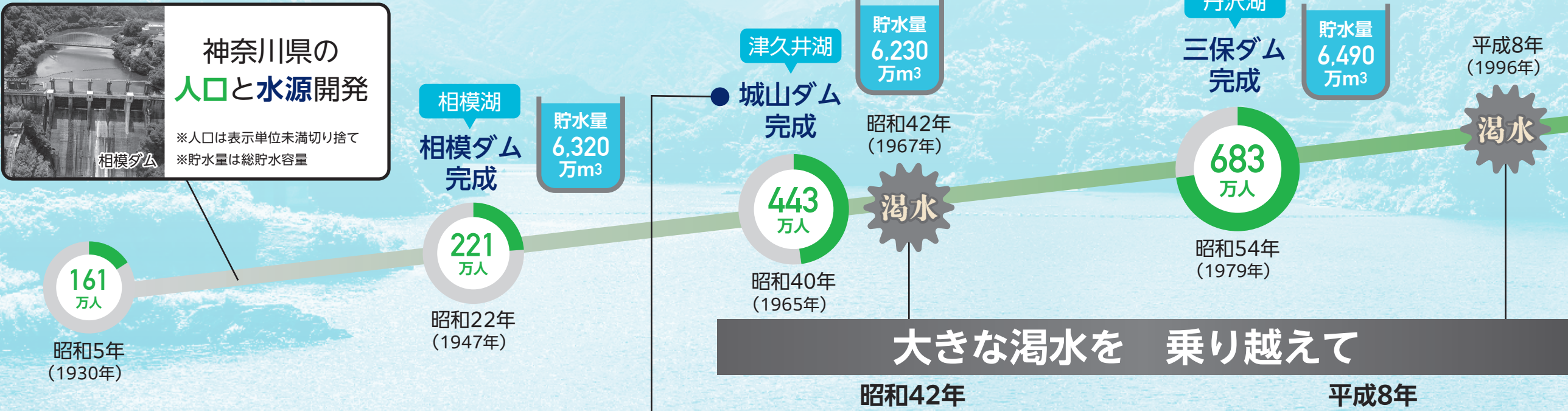


水不足克服への挑戦・安定供給の実現

県には、主に県が管理する相模ダム・城山ダム・三保ダムと、国が管理する宮ヶ瀬ダムがあり、これら四つのダムは「かながわの水がめ」として大きな役割を果たし、今も県民の生活と産業の発展を支えています。

神奈川の水源開発はふるさとを離れることになった地域の人々の理解と協力のもと、高度経済成長などによる人口の急増や産業の集積による水需要の増大を背景として、大きな水不足(渇水)を経験しながら行われてきました。

こうした「かながわの水がめ」の歴史を当時の写真と共に紹介します。



高度経済成長を支えた「城山ダム」

ダム建設前の様子

現在

昭和30年代後半の高度経済成長期には、県内の水需要が著しく増加しました。こうした状況に対処するため、県・横浜市、川崎市および横須賀市が共同して、相模川総合開発共同事業を計画し、城山ダムが昭和40年に完成しました。

渇水時の相模湖の様子

昭和40年に城山ダムが完成したものの、昭和42年には少雨による大きな渇水に見舞われました。相模湖・津久井湖の貯水量は満水時の22%に激減し、県営水道や横浜・川崎・横須賀市営水道は20%の給水制限を行いました。その後も降雨に恵まれなかったことで、断続的に断水が発生して給水車が出動したり、プールの使用やガソリンスタンドでの洗車ができないなど、県民生活・産業活動に大きな影響が出ました。

宮ヶ瀬ダムの歴史

21世紀に向けて県民に水道水を安定的に供給するため、相模川水系中津川において国が宮ヶ瀬ダムの水源開発を行い、平成13年3月に完成しました。

コラム

清川村の一部、宮ヶ瀬地区は、かつて1,000人を超える方々が暮らしていました。ダム建設によりふるさとからの移転を余儀なくされた地域の大勢の方々のご理解・ご協力により、渇水に強い神奈川の一翼を担っています。

ダム建設前の集落の様子(右)

平成8年 (1996年)

渇水

平成13年 (2001年)

宮ヶ瀬湖

宮ヶ瀬ダム完成

貯水量 1億9,300 万m³

平成8年を最後に県内で大きな渇水は起きていません!

ダムエレキくん

渇水に強い神奈川の三つの理由

POINT 1 県内のダムで水道水を自給自足

神奈川県は水道水の約9割を県内を流れる相模川と酒匂川二つの水系から取水し、残り1割の水源も県内にあります。

POINT 2 国と県が手を取り合って、「総合運用」

国・県のダムを二つのトンネルでつなぎ、効率よく水をやりとりしています。

POINT 3 相模川、酒匂川2水系をつなぐ導水ネットワーク

相模川および酒匂川の下流にある、それぞれの取水堰から浄水場までの間の導水管を途中でつなぐことで2水系間の水を相互に融通できます。

県のダムについて詳しくはこちら

県のダム事業、渇水に強い理由については県利水課 ☎045(210)7235 ㊟045(210)8904

【上記記事に関する問合せ】 宮ヶ瀬ダムについては県土地水資源対策課 ☎045(210)3123 ㊟045(210)8820

昭和42年・平成8年の渇水については県土地水資源対策課 ☎045(285)0049 ㊟045(210)8820

※グラフの人口は、「令和2年国勢調査 神奈川県人口等基本集計結果」、「神奈川県人口統計調査結果報告 令和6年1月～12月の動向」、「神奈川県の人口と世帯 令和7年9月1日現在」を基に県が作成

レトロ写真館

KANAGAWA

神奈川の歴史を写真で振り返ります。

昭和36(1961)年撮影

小田原城とゾウ

シンボルとして多くの人に親しまれる

小田原城址公園にゾウがいた時代がありました。インドゾウのウメ子は、昭和25(1950)年の「小田原こども文化博覧会」の開催に合わせ、推定3歳の時にやってきました。平成21(2009)年、当時、国内最高齢の推定62歳で息を引き取るまで、小田原動物園のシンボルとして、多くの人に親しまれました。ウメ子のいた同動物園は令和5(2023)年に閉園しました。

県立公文書館所蔵

昭和45(1970)年撮影

神奈川県でも「月の石」公開

約6,000人もの人々が来館

神奈川県立博物館(当時)で昭和45年12月10日に一日限定で展示されたアポロ12号(歴史上2度目の有人月面着陸に成功)が持ち帰った「月の石」です。高さ約4cmの小さな石でしたが、一日で約6,000人もの人々が来館し、見学のために博物館の周囲を一周する長い行列ができました。

出典：県政写真ニュース第308号を加工して県が作成

県立公文書館所蔵

展示された「月の石」
県立歴史博物館提供

戦後80年 平和への祈り 未来へつなぐ

終戦から今年で80年を迎えました。昭和6(1931)年の満州事変後、首都に隣接する神奈川県は軍事的な要衝として、陸海軍の基地や軍需工場が多く設置されました。昭和20(1945)年に米軍の爆撃が本格化し、市街地が廃墟と化し、多くの人が犠牲になりました。ここでは、県内の戦災当時の一部の様子を紹介するとともに、戦争の記憶を風化させないため、平和への思いを次世代へ語り継ぐことを目的とした県の取り組みを紹介します。

平塚市の被災

平塚市内の被害状況 ※米国立公文書館蔵 平塚市博物館提供

平塚市は、昭和20年7月16日深夜から17日未明にかけて、B29爆撃機133機による大空襲を受けました。投弾範囲は現在の平塚市域にとどまらず、現在の茅ヶ崎市・大磯町・二宮町・小田原市にまで及びました。

出典：総務省 国史館(平塚市における戦災の状況(神奈川県))を加工して県が作成

神奈川県内の戦争の爪痕

川崎市は、昭和20年4月15日にB29爆撃機200機余りによる大規模な爆撃を受け、市中心部と南武線沿いの工場が集中している地域は、壊滅的な被害を受けました。写真奥にある時計塔は、戦時中、迷彩色に塗られ、防空監視哨の役割を担っていました。

出典：総務省 国史館(川崎市における戦災の状況(神奈川県))を加工して県が作成

川崎市の被災



川崎市役所付近の焼け跡(現在の平和通り) ※川崎市平和館所蔵

次世代へ語り継ぐために――

県の取り組みについて詳しくはこちら



AI 語り部体験の様子

AI 語り部 ～戦争体験を伝えるリアル映像～

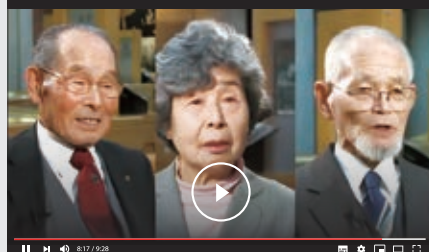
語り部の記憶や思いを未来へ継承するため、AIを活用した対話型語り部システムを今年から導入しました。AI語り部では、長崎での原爆投下時の惨状や被爆体験の講話が聴けるとともに、戦時中の様子等を質問することができます。かながわ平和祈念館遺品展示ホールに常設しており、予約不要で体験できますので、ぜひお越しください。

場 所	かながわ平和祈念館(県戦没者慰霊堂附属会館)
開館時間	9時～17時(展示ホールは16時30分まで)
休 館 日	年末年始
所 在 地	横浜市長南区大久保1-8-10
交 通	京急・市営地下鉄 上大岡駅から徒歩8分

詳しくはこちら

戦争体験等次世代継承ビデオ

動画再生はこちら



戦争を体験された方々が「語り部」となり、証言を語り伝えるビデオを公開していますので、ぜひご覧ください。

【上記記事に関する問合せ】 戦争体験を語り継ぐ次世代継承事業については県生活支援課 ☎045(210)4903 ☎045(210)8859

神奈川発 新幹線ストーリー

リニア時代の幕開けへ

神奈川県は実は新幹線と関わりが深い県です。東海道新幹線の駅があることは周知のことと思いますが、昭和39(1964)年開業の東海道新幹線の試験運転にも関わっていました。そして現在はリニア中央新幹線の工事が進められています。



鶴宮基地でのモデル線(右)の様子 提供：小田原市

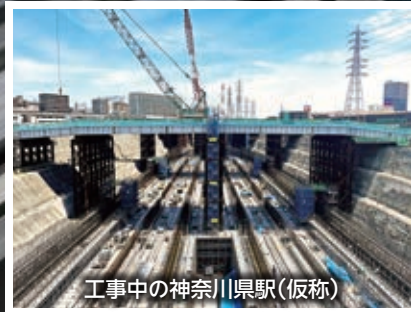
日本で最初に新幹線の線路ができたのは…神奈川県

昭和37年6月、小田原市鶴宮から大磯の間(のち綾瀬間)に日本初の新幹線モデル線が開通しました。このモデル線では、新幹線の試験車を走らせていましたが、昭和38年3月には電車による当時の世界最高時速256kmが記録されました。その後、昭和39年10月の新幹線開業に向けて、このモデル線では何回も走行試験が行われました。

※[県央・湘南の環境と共生する都市づくりNEWS No.9]から引用

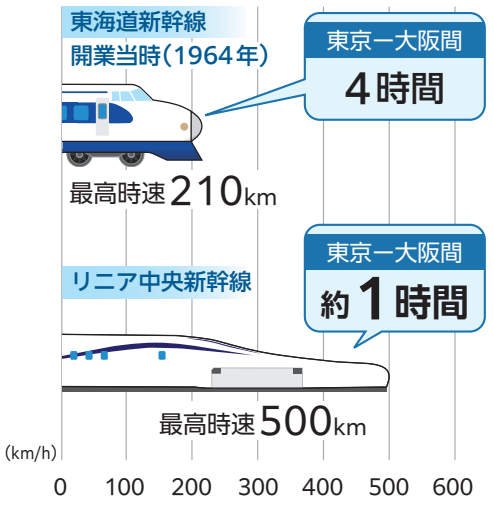
県内で進むリニア中央新幹線事業

リニア中央新幹線は東京都から大阪市までの約438kmを日本独自の技術である超電導リニアによって結ぶ新たな新幹線です。現在、リニア中央新幹線の建設工事が各地で行われており、神奈川県でも相模原市緑区橋本にて神奈川県駅(仮称)の工事が本格化しています。



リニア中央新幹線 提供：JR東海

ここがすごい！リニア中央新幹線



【上記記事に関する問合せ】 新幹線モデル線については県環境共生都市課 ☎045(210)6033 ☎045(210)8879
リニア中央新幹線事業については県交通政策課 ☎045(210)6185 ☎045(210)8879

昭和41(1966)年撮影

横浜市鶴見区の工業地帯

高度経済成長期を支えた京浜工業地帯

京浜工業地帯は、昭和30(1955)年代に成熟期を迎え、日本の中心的な工業地帯として発展していくとともに、戦後日本の高度経済成長期を支えました。



昭和48(1973)年撮影

横須賀中央駅～市障害者福祉センター

県内初の視覚障がい者用点字ブロック完成

京急横須賀中央駅から市障害者福祉センターまでの県道に、県内で初めての本格的な視覚障がい者用点字ブロック歩道が完成しました。

出典：県政写真ニュース第548号を加工して県が作成



県立公文書館所蔵

みなとみらい21地区の変遷

時代は昭和から平成、令和へ

みなとみらい21地区は、平成元(1989)年に開催された横浜博覧会「YOKOHAMA EXOTIC SHOWCASE'89」を契機に現在のような高層ビルが並ぶ街並みへ大きく変わりました。同博覧会は、「宇宙と子供たち」をテーマに、平成元年3月25日から10月1日までの191日間開催され、1,333万人の総入場者数を得て閉幕しました。

出典：横浜市史資料室「市史通信第35号」を加工して県が作成 写真：横浜市提供



昭和58(1983)年撮影

令和7(2025)年撮影



横浜市消防局航空消防隊撮影

かながわ謎解きクイズ デジタルラリー

昔懐かしい「近現代レトロ」をテーマに、県内の魅力的な歴史、文化、自然を楽しみながら巡るデジタルラリー※を開催しています。県内各地のスポットでは謎解きが写真撮影のクエスト(課題)が出題されます。クエストをクリアすると、スタンプやポイントを獲得することができ、ポイント取得数に応じて賞品に応募できます。この機会に、県内各地に広がるさまざまな謎を解き明かし、神奈川の近現代の魅力を堪能する旅に出かけませんか？

※デジタルラリーとは、スマートフォンで参加するスタンプラリーのことで

第2期 イシシ × 海辺のグルメな旅

～横浜・三浦半島～

開催期間 令和8年1月4日(日)まで

＼フォトクエストの一例／

葉山しおさい公園(葉山町)

葉山御用邸付属邸跡地に開設され、皇室にゆかりがあり、三ヶ岡山を借景とした日本庭園を楽しめます。

開園時間: 8時30分～17時(入園は16時30分まで)

休園日: 月曜、祝日の翌日、年末年始

交通: JR逗子駅または京急 逗子・葉山駅からバスで「一色海岸」下車すぐ

その他、どぶ板通り(横須賀市)や城ヶ島灯台(三浦市)など **20カ所のチェックポイントあり!**

第3期 ノシシ × 山ののんびり旅

～横浜・箱根・丹沢大山～

開催期間 令和8年1月9日(金) ▶ 2月22日(日)

＼謎解きクエストの一例／

大山阿夫利神社 下社(伊勢原市)

昭和2(1927)年に小田急線伊勢原駅開業と同時期に大山阿夫利神社への参詣の便を図るため、大山鋼索鉄道(現在の大山ケーブルカー)の建設が始まり、昭和6年に開通しました。

拝観時間: 平日9時～16時30分(土曜・日曜・祝日は17時まで)

交通: 大山ケーブルカー 阿夫利神社駅から徒歩3分

その他、鶴巻温泉(秦野市)や恩賜箱根公園(箱根町)など **20カ所のチェックポイントあり!**

賞品一覧

S賞 1名様	葉山ホテル音羽ノ森(写真) 10万円分宿泊ギフト券
A賞 10名様	天然本まぐろ特選詰め合わせギフト 5点セット
B賞 29名様	よこすか海軍カレービーフ 200g(1食入)×10個

※当選賞品は抽選のため選べません ※写真は一例です

スマートフォンを使用したイベント参加の際の注意事項

- × 歩きながらのスマートフォンの操作は非常に危険ですので絶対におやめください。
- × イベントを楽しむ際は、通行人の迷惑にならないようご注意ください。

かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ

昭和100年のイベント等について詳しくはこちら

旧吉田茂邸 特別庭園ガイド

昭和の名宰相 吉田茂
その庭園の魅力を知る

事前申込不要

庭園設計者である中島健氏が、吉田茂の感性豊かな嗜好を取り入れて作り上げた風景などについて、ガイドがエピソードを交えて紹介します。庭園を兜門から七賢堂(特別開扉開催予定)を巡り、最後に旧吉田茂邸から往時の吉田茂の視点で庭園を眺めることで昭和時代に設計された庭園の素晴らしさを体感できます。

旧吉田茂邸 兜門の前に立つ吉田茂 写真:大磯町郷土資料館所蔵

日程: 令和8年2月7日(土)・8日(日) 10時～15時 各回1時間・10名(1日5回)

場所: 県立大磯城山公園

料金: 大人600円、中・高校生300円、小学生以下無料

交通: JR大磯駅からバスで「城山公園前」下車徒歩3分

【上記記事に関する問合せ】 昭和100年のイベント等については県総合政策課 ☎045(210)3056 045(210)8819 旧吉田茂邸特別庭園ガイドについては同公園管理事務所 ☎0463(61)0355 0463(61)6935

公園について詳しくはこちら

法人の県民税・事業税の超過課税を延長します

県は、これまで法人の皆さんに法人県民税・事業税について超過課税という特別なご負担をお願いし、その時々行政課題に対応してきました。今後5年間もこの財源を有効に活用して、安全・安心の確保と経済の活性化を図っていきます。

延長後の適用期間 令和7年11月1日から令和12年10月31日までの間に終了する各事業年度分

上記期間の税收規模(見込み) 約 1,400億円

経済対策の推進

- 生産性向上への支援
- 人材確保への支援

災害に強い県土づくりの推進

- 「水防災戦略」に基づく河川の整備等の大規模水害対策
- 「地震防災戦略」に基づく大規模地震対策

県内経済の持続的な発展に向けた幹線道路の整備

- 災害時の物資輸送や経済活動の早期再開にかかる自動車専用道路の整備

【上記記事に関する問合せ】 超過課税の制度については県税制企画課 ☎045(210)2306 045(210)8806 超過課税の活用については県財政課 ☎045(210)2266 045(210)8805

vol.74

ともいきバトン

今月は、神奈川県災害派遣福祉チーム(神奈川DIWAT) チーム員の鈴木ようこさんに伺いました!

災害時に誰ひとり取り残さない福祉を目指して

神奈川DIWATは、災害時に高齢者や障がい者、子どもなどの配慮が必要な方々のニーズを伺い、避難生活における生活機能の低下防止を図りつつ、安定的な日常生活へ移行できるように福祉支援を行うチームです。令和6年能登半島地震では、石川県内において避難生活中の困りごとについての相談支援や環境調整を幅広く行いました。近年、わが国ではさまざまな災害が発生しており、次にどのような災害が起こるか分かりません。私たちDIWATは行政や多職種、多機関等と連携をしながら訓練を重ねてまいります。皆さんも「普段の備蓄」「ハザードマップや避難経路の確認」「個別避難計画の作成」など、日頃からの備えを、ぜひ進めてみてください。

（一社）神奈川県精神保健福祉士協会 鈴木ようこさん

このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。

【ともいきバトンに関する問合せ】 県共生推進本部 ☎045(210)4961 045(210)8854

ともに生きる

ともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県

憲章についてはこちら

今月のおしらせ

Information

※記載のほかに、入場料・保険料・テキスト代等が必要な場合もあります ※事前申込みで定員を超えた場合は抽選します（連絡がなければ参加可）
※記事は11月14日時点の内容であり、変更になる場合があります

必要事項凡例

〒

= 郵便番号

住

= 住所

名

= 氏名

年

= 年齢

性

= 性別

☎

= 電話番号

申込みはe-kanagawa 電子申請  をご利用ください

公募委員の募集				
	県食の安全・安心審議会	県民ホール及び音楽堂指定 管理業務実績評価委員会	県働き方・ 行政改革推進協議会	県再犯防止推進会議
内 容	食の安全・安心の確保に 関する重要事項について 審議する	指定管理者の主な自主 公演の鑑賞・評価、指定 管理業務の評価を行う	県の働き方改革および 行政改革の推進について 意見を述べる	県の再犯防止推進計画 の推進等について意見 を述べる
対 象	令和8年4月1日現在18歳以上で県内在住・在勤・在学の方 (日本語のできる外国籍の方を含む)			令和8年1月1日現在18歳 以上で県内在住・在勤・ 在学の方(日本語のでき る外国籍の方を含む)
人 数	3人	1人	1人	1人
任 期	令和8年4月1日から2年間			
募集期間	12月15日まで(必着)	12月15日まで(必着) (電子申請は17時15分 受信まで)	12月1～26日(必着) (電子申請は17時15分 受信まで)	12月1日～1月14日(必着) (電子申請は17時15分 受信まで)
募集案内	各保健福祉事務所等で 配布中、  にも掲載	各地域県政情報コーナー 等で配布中、  にも掲載	 に掲載	各地域県政情報コーナー 等で配布中、  にも掲載
問合せ先	県生活衛生課 ☎045(210)4940	県文化課 ☎045(210)3804	県行政管理課 ☎045(210)2221	県地域福祉課 ☎045(210)4750

試験・募集

県民ホール再整備基本構想素案にご意見を

新たな県民ホールが目指すべき方向性や求められる機能等を整理した「神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想素案」を作成しましたので、ご意見をお寄せください。基本構想素案は、や県政情報センター、各地域県政情報コーナー等でご覧いただけます。

●意見の提出方法: か郵送、ファクスで12月10日～1月12日に県文化課へ
※手話を撮影・録画したDVDの郵送も可
☎同課 ☎045(285)0216
FAX 045(210)8870

建設発生土受け入れ地の募集

県や市町村の工事で発生する土砂を受け入れていただける土地を募集しています。
●対象: 相模原・小田原・秦野・厚木・大和・伊勢原・海老名・座間・南足柄・綾瀬市・中井・大井・松田・山北・開成・箱根・真鶴・湯河原・愛川町・清川村に自己所有(共同応募可)で埋め立て土量10万立方メートル以上が可能な土地があり、土地の有効利用をお考えの方
※詳しくはか問合せ
☎県技術管理課 ☎045(285)3203

クルーザーヨット保管施設年間利用者募集

湘南港(江の島ヨットハーバー)
●内容: ①艇長11メートル以下4艇②艇長8メートル以下1艇
③艇長7.7メートル以下5艇
●受付期限: 12月26日(持参は17時まで、郵送は必着)
●募集要項: に掲載
※詳しくはか問合せ
☎(株)リビエラリゾート 湘南港港湾管理事務所 ☎0466(22)2128か県藤沢土木事務所許認可指導課 ☎0466(26)2111内線614

新幹線絵画コンクール作品募集

●テーマ: 夢はこぶ新幹線・私たちの未来のまち
●対象: 相模原・平塚・藤沢・茅ヶ崎・厚木・伊勢原・海老名・座間・綾瀬市・寒川町在住・在学の小学生
●応募期限: 1月15日
※詳しくはか問合せ
☎県環境共生都市課 ☎045(210)6033

県会計年度任用職員募集(医療的ケア看護師)

●募集人数: 2人
●勤務地: 県立特別支援学校
●受験資格: 看護師免許取得者で、3年以上の実務経験を有する方
※外国籍の方も可、申込方法等詳しくはか問合せ
☎県特別支援教育課 ☎045(210)8276

公立学校臨時的任用職員(教員)の登録

●対象: 教員普通免許状所有者または取得見込みの方
●勤務地: 県立学校および政令市を除く市町村立学校
※詳しくはか問合せ
☎県教職員人事課 ☎045(210)8145(小・中学校)
☎045(210)8154(高校・特別支援学校)

県障害者スポーツ大会(ボッチャ)

●日程: 3月1日(日)
●場所: アサンテ スポーツパーク(県立スポーツセンター)
●対象: 令和7年4月1日現在13歳以上で県内(横浜・川崎市を除く)在住等の身体障がい者
●申込用紙: に掲載
●申込期限: 12月15日(必着)
※申込方法等詳しくはか問合せ
☎(公財)県身体障害者連合会 ☎045(311)8736
FAX 045(316)6860

お知らせ

障害者等用駐車区画利用証の交付

歩行が困難な方や、移動に配慮を必要とする障がい者や要介護高齢者、妊産婦等が駐車しやすいよう、「かながわ障害者等用駐車区画利用証制度」に基づく利用証を交付しています。
※詳しくはか問合せ
☎県地域福祉課 ☎045(210)4804

県庁への郵便物は〒231-8588県〇〇課で届きます(所在地は省略できます)

防災冊子「神奈川防災」を配布しています

県内で想定される地震の被害や災害時に取るべき行動・事前の備えなどの情報のほか、女性や高齢者、障がい者など多様な視点で防災知識や防災上の留意事項を記載した冊子を県危機管理防災課等で配布中、にも掲載しています。
※郵送希望の場合は問合せ
☎同課 ☎045(210)5945

公共職業訓練 4月生

専門人材育成コース
●訓練期間: 4月から1・2年間
●訓練科: 調理師・介護福祉士・保育士・栄養士・美容師・デジタル・観光・商業実務コース等
●対象: 求職中の方各2～15人
※年齢等その他要件あり
●受付期間: 12月12日～1月16日
●申込書: 各ハローワークで配布中、にも掲載
☎県立東部総合職業技術校二俣川支所 ☎045(363)1992

神奈川建築コンクール 入賞作品決定

第67回神奈川建築コンクールの入賞作品が決定しました。で紹介していますのでご覧ください。
☎県建築安全課 ☎045(210)6255

一般建築物部門最優秀賞
Bosch Fusion Project
撮影: ㈱グッドフォート

年末年始の運転免許手続き

●最終日: 運転免許センター12月28日(日)(一部手続きのみ、12月27日(土)を除く)○警察署12月26日(金)
●開始日: 運転免許センター1月4日(日)(一部手続きのみ)○警察署1月5日(月)
※12月27日～1月4日に有効期間が満了する免許証は1月5日まで有効。詳しくはか問合せ
☎最寄りの警察署か県警察運転免許センター ☎045(365)3111内線252

高度外国人材受入支援補助金

県内中小企業等における高度外国人材(技術・人文知識・国際業務または高度専門職)の採用手続きに係る費用を補助します。
●補助上限額: 50万円 ●補助率: 1/3
●申請期限: 2月13日
※詳しくはか問合せ
☎県雇用労政課 ☎045(285)0649

年末のパスポート申請

12月28日(小田原出張所は26日)までにパスポートの受け取りが必要な方は、次の期限までに申請してください。

申請場所	申請期限
①パスポートセンター(横浜市中区)	12月16日
②川崎支所(川崎市幸区)	
③県央支所(厚木市)	
④小田原出張所 (県小田原合同庁舎内)	12月12日 ※県央支所受け取りの場合は15日
⑤出張窓口 横須賀(県横須賀合同庁舎内) 毎週火曜	12月9日
平塚(県平塚合同庁舎内) 毎週木曜	12月11日

●受付時間: ①9時～16時45分(月・木・金曜)、9～19時(火・水曜)②③9時～16時45分④9～12時、13時～16時45分⑤各曜日の10～12時、13時～16時15分 ※いずれも土・日曜、祝・休日、12月29日～1月3日は休み
☎県パスポート電話案内センター(横浜) ☎045(222)0022

小規模企業者等の設備導入を応援します

●対象: 従業員数50人以下の企業者、創業者等
●内容: 創業や経営の革新に必要な新品設備の貸与(割賦年利0.8～2.4%、創業者は2.0%、月額リース料率0.946～2.980%)
●貸与期間: 10年以内で原則として耐用年数の期間以内
●限度額: 1億円
※詳しくはか問合せ
☎(公財)神奈川産業振興センター ☎045(633)5066か県金融課 ☎045(210)5681

かながわ県のたより 令和7(2025)年12月号 No.849

9

県平塚合同庁舎の建て替えに伴う仮移転

同庁舎は建て替えのため、1月13日に次の住所に仮移転します。
●仮移転後の住所: 平塚市中里50-1(元県立平塚商業高校)
※詳しくはか問合せ
☎県政策局総務室 ☎045(285)0662

優生手術等を受けた方とそのご家族へ

県内在住で旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた方を対象に、補償金等支給の請求や相談を受け付けています。
●請求期限: 令和12年1月16日
※詳しくはか問合せ
☎旧優生保護法に関する補償金等支給受付・相談窓口(県がん・疾病対策課内) ☎045(663)1250

潜在保育士向け復職支援研修

保育士資格を持っていて、保育所等に就業していない方を対象に県内の保育所等で体験・実習を実施しています。参加者には体験準備金をお支払いします。
●申込期限: 1月30日
※詳しくはか問合せ
☎県次世代育成課 ☎045(210)4687

個人住民税(第4期分)の納期限

個人住民税(市町村民税と県民税)および森林環境税の令和7年度第4期分の納期限は2月2日(座間市は12月25日、平塚市・寒川町・大磯町は1月5日)です。納期限までに納めましょう。
☎お住まいの市区町村の税務担当課

12月は「寄付月間」です

県が受け付けている寄付の一部を紹介します

ふるさと納税を活用した寄付
かながわキンタロウ寄付金



NPO応援寄付

応援したいNPOを指定して寄付することができます。
☎県NPO協働推進課 ☎045(210)3703



奨学金基金

高校生等への奨学金の貸し付けに活用しています。
☎県財務課 ☎045(210)8251



「ともいき広場」クラウドファンディング

誰もが一緒に遊べる遊具を備えたインクルーシブな広場を県立相模原公園で整備するため、寄付金を募集しています。
☎県都市公園課 ☎045(210)6224



まなびや基金

県立学校の物品購入や改修工事、グラウンドの芝生化など教育環境の整備に活用しています。
☎県財務課 ☎045(210)8105

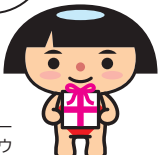


遺贈寄付

ご自身が遺した財産を、遺言で寄付する方法です。
☎県財政課 ☎045(210)2266



未来のために、寄付について考えてみませんか。



神奈川PRキャラクター
かながわキンタロウ

「県のたより」の発行経費に充てるため、広告を掲載しています。
広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、県が推奨するものではありません。

「県のたより」の発行経費に充てるため、広告を掲載しています。広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、県が推奨するものではありません。

ハロートレーニング説明会

県内で実施しているハロートレーニング(公共職業訓練)を紹介する動画を **HP** で公開しています。
※詳しくは **HP** か問合せ
図 県人材育成支援センター ☎045(363)1234

サイクリング・デジタルスタンプラリー

県内のコースを自転車で巡るスタンプラリーを開催しています。完走したコース数に応じて抽選でクロスバイクや地元の特産品などが当たります。
●コース:湘南海岸・箱根・三浦半島・相模湖・宮ヶ瀬・県央
●期間:2月28日まで
※詳しくは **HP** か問合せ
図 県スポーツ課 ☎045(285)0798



神奈川県PRキャラクター
かながわキンタロウ

普通仮免許取得等の年齢要件の引き下げ

令和8年4月1日から準中型および普通仮免許の取得と準中型および普通免許の運転免許試験の年齢要件がそれぞれ18歳以上から17歳6か月以上に引き下げられます。なお、準中型および普通免許取得の年齢要件は18歳以上のままです。
図 県警察運転免許センター ☎045(365)3111
内線232



講座

かながわコミュニティカレッジ

1・2月開講講座

- ①NPO・ボランティア団体の活動と運営(実務)
- ②子どもシェルターのボランティア養成
- 場所:①オンライン開催②かながわ県民センター
- 定員:各30人
- 申込期限:①1月8日②1月17日
- 費用:①3600円②4000円
- ※詳しくは **HP** か問合せ
図 同事務局 ☎045(620)0743

障害者スポーツサポーター養成講習会

- 日程:1月24・25日9時30分～16時30分(全2回)
- 場所:県立金沢支援学校
- 内容:障がい者スポーツのイベント等を支える人材養成
- 対象:県内在住・在勤・在学中中学生以上の方25人(18歳未満の方は保護者の同意が必要)
- 申込期限:1月6日(必着)
- ※詳しくは **HP** か問合せ
図 (一財)かながわパラスports協会
☎0466(83)0033 **FAX** 0466(83)0034

県庁への郵便物は〒231-8588県〇〇課で届きます(所在地は省略できます)

県立産業技術短期大学の講習会

- 表計算ソフト講座(集計・文字列操作・期間関数編)
- 日程:2月18・19日8時50分～16時10分(全2回)
- 定員:15人
- 費用:6200円
- 申込み: **HP** で1月14日17時まで
- ※就業中の方優先・詳しくは **HP** か問合せ
図 同校 ☎045(363)1233

県立東部総合職業技術校の講習会

- 建築3次元CAD入門(BIMモデリング)
- 日程:2月19・20日8時50分～16時10分(全2回)
- 定員:15人
- 費用:2000円
- 申込み: **HP** で1月15日17時まで
- ※就業中の方優先・詳しくは **HP** か問合せ
図 同校 ☎045(504)3101



催し

小児慢性特定疾病自立支援フォーラム

- 日程:1月11日(日)13時～16時15分
- 場所:横浜情報文化センター(横浜市中区)
- 内容:かながわ移行期医療支援センター センター長・今井富裕氏などによる講演、患者本人の体験談、意見交換等
- 定員:230人 ※オンライン配信あり
- 申込み: **HP** か電話で1月6日まで
- 図 県子ども家庭課** ☎045(210)4671

HP と **mail** は「県のたより」ホームページ <https://www.pref.kanagawa.jp/tayori/> からご覧ください。

オープンキャンパス

県立産業技術短期大学校

- 日程:12月20日(土)10時～15時30分
- 内容:学科紹介や入試制度の説明など
- ※詳しくは **HP** か問合せ
- 申込み: **HP** か電話で12月17日まで
- 図 同校** ☎045(363)1232

くらしの経済講演会 in 厚木

- 日程:12月22日(月)14時～15時30分
- 場所:厚木市文化会館
- 内容:お笑いコンビ・バックンマップンによる金融に関する正しい知識や情報に関する講演
- 定員:300人
- 申込み: **HP** かファクスに代表者の☎☎☎☎☎と全員の☎を明記し、12月15日までに **株式会社tvkコミュニケーションズ**へ ※問合せは平日10～15時
図 前記 ☎045(663)9955
FAX 050(3514)6477

地域防犯ボランティアセミナー

- 日程:1月20日(火)14～16時
- 場所:横浜情報文化センター(横浜市中区)
- 内容:タレント・田代沙織氏による落語と、早稲田大学教授・小西暁氏による講演で特殊詐欺や防犯について学ぶ
- 対象:防犯全般に興味がある方、ボランティア活動に興味がある方100人
- 申込期限:1月15日(電子申請は17時受信まで)
- ※詳しくは **HP** か問合せ
図 県くらし安全交通課 ☎045(210)3520

県立がんセンター公開講座

重粒子線がん治療の実際と今後の可能性

- 日程:1月24日(土)13時30分～16時
- 場所:はまぎんホール ヴィアマーレ(横浜西区)
- 定員:300人
- 申込み: **HP** かはがきに☎☎☎☎☎を明記し、11月25日～1月14日(必着)までに **同センター総務企画課** 〒241-8515(所在地省略可)へ
- 図 同センター** ☎045(520)2222内線2109

小児がん相談支援室セミナー

小児がんの長期フォローアップ～経験者の語り

- 日程:1月24日(土)14～16時
- 場所:県立こども医療センター
- 内容:おむすび診療所院長・浜之上聡氏による講演、患者本人の体験談
- 対象:患者家族、医療・教育・保健福祉関係者など100人
- 申込み: **HP** で1月23日17時まで
- ※オンライン配信あり、詳しくは **HP** か問合せ
図 同センター ☎045(711)2351内線5986

バレエ衣装を着用した体験会

- 日程:①1月24日10・14時②1月31日
- 場所:県立相模湖交流センター
- 内容:①バレエレッスン②撮影会 ※①②とも衣装貸与
- 対象:3歳～中学生①各50人②12組36人
- 申込期間:11月27日～12月17日
- ※詳しくは **HP** か問合せ(平日13時30分～16時30分)
- 図 ㈱アトリエヨシノ** ☎042(682)6055

NII湘南会議記念講演会

フェイクから身を守るには?～創るAlvs守るAI

- 日程:1月25日(日)14～16時(フェイクメディア体験コーナーは13時30分～14時)
- 場所:湘南国際村センター(葉山町)
- 講師:国立情報学研究所(NII)教授・越前功氏
- 定員:会場150人(オンラインでの参加も可)
- 申込み: **HP** か電話で12月15日～1月16日に **県地域政策課**へ
- 図 同課** ☎045(210)3255

プラチナ世代向け企業交流会

- 日程:1月30日(金)10～12時
- 場所:かながわ県民センター
- 内容:65歳以上の方を積極的に採用している企業の採用担当者との座談会および個別相談会
- 対象:おおむね65歳以上で求職中の方30人
- 申込み:電話で12月15日～1月29日までに **シニア・ジョブスタイルかながわ**へ(平日9時30分～18時)
- 図 前記** ☎050(5443)6627

かながわ能楽ワークショップ

- 日程:1月31日(土)10時30分～12時30分
- 場所:県立青少年センター
- 内容:謡曲体験・装束の着付け等
- 講師:観世流シテ方・中森貴太氏
- 対象:小・中学生と保護者30人
- 費用:1000円
- 申込み: **HP** で12月1日～1月9日
- 図 県文化課** ☎045(210)3808



施設情報

☎は12月1日～1月15日までの休館日を記載しています。
ご利用の際は各施設等の最新情報をご確認ください。

県立公文書館

収蔵資料展示「高札の時代」

- 期間:12月21日まで
- 内容:木の板に幕府や政府の法令等を記した高札の展示
- 図** ☎045(364)4461
(休)月曜、12月28日～1月4・13日

あーすぷらざ

オードリー・ヘプバーン写真展

- 「AUDREY in Cinema」
- 期間:11月29日～1月3日8日
- 内容:「ローマの休日」など出演した20の映画作品を中心とした写真展示
- 図** ☎045(896)2121
(休)月曜(1月12日)は開館)、12月29日～1月3日



©Bud Fraker/
mptimages.com
「麗しのサブリナ
(1954)」より

花菜ガーデン

アイスチューリップでメリークリスマス!

- 期間:12月1日～25日
- ※入園料が必要、詳しくは **HP** か問合せ
図 ☎0463(73)6170
(休)水曜、12月28日～1月4日



県立愛川ふれあいの村

親子で味噌作りキャンプ

- 日程:2月7・8日(1泊2日)
- 内容:大豆を使ったおやつ作り、味噌作りの準備・仕込みなど
- 対象:年少～小学生を含む家族40人
- 費用:8500円(3歳～小学生7500円、2歳以下500円)
- 申込み:電話で12月1日～1月10日に **同施設**へ
- 図** ☎046(281)1611
(休)12月28日～1月4日



「県のたより」読者アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で20名の方に、「かながわキンタロウ アクリルスタンド」をプレゼントします。

申込み▶ **HP** かはがきで☎ **住名年** ☎と「県のたより」12月号について●参考になった記事、●ご意見・感想を明記し、12月1～22日にご応募ください。(応募は1人1回まで)

HP

応募は電子申請 から▶

はがき 県知事室県のたよりグループ〒231-8588 所在地省略可

※個人情報とは適切に管理し貴品の発送のみに利用・当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

図 県知事室 ☎045(210)3662

宝くじは県内で購入しましょう

県内で販売された宝くじの収益金は、子育て支援や学校教育施設の整備など、さまざまな分野に使われ、皆さんの身近な暮らしに役立っています。

▶関東・中部・東北自治宝くじ

発売期間	単価	1等賞金×本数
12月3日～12月16日(スクラッチ)	200円	300万円×30本
12月24日～1月20日(初夢宝くじ)	200円	1億5000万円×1本(1等前後賞合わせて2億円)

▶全国自治宝くじ

発売期間	単価	1等賞金×本数
12月24日～1月13日(スクラッチ)	300円	3000万円×9本
12月24日～1月6日(スクラッチ)	200円	500万円×8本

宝くじ売場や販売スケジュールなどが分らない場合は **HP** でもご確認ください
宝くじコールセンター▶ ☎(0570)011192

図 県財政課 ☎045(210)2291

県の業務などの相談窓口が分らない場合は

県民相談ナビ・デスク

☎045(321)6865 月～金曜(祝・休日除く) 9時～16時30分

あなたの声をインターネット・手紙・FAXで県政にお寄せください!

わたしの提案

神奈川県への提言

インターネット	神奈川県 わたしの提案
手紙	〒231-8588 県情報公開広聴課 広聴グループ 「わたしの提案」と表書きしてください。県の施設や市区町村の窓口に専用用紙もあります。
FAX	045(210)8833

図 県情報公開広聴課 ☎045(210)3672

かながわコンテンツ

カナフルTV

日曜 18:00～18:30

7日 文字の温かみ、手紙のぬくもりを感じる冬

14日 ふるさと納税で神奈川を応援!

21日 ヨルノカナガワ

テレビ

28日 プレイバック神奈川2025～カナフル年末スペシャル～[知事出演]

KANAGAWA Muffin

土曜 8:30～8:55

6日 温かみを感じる和紙と伝統工芸

13日 ふるさと納税で神奈川を応援!

20日 現代によみがえった中津帯

ラジオ

27日 プレイバック神奈川2025[知事出演]

※放送日時、内容は変更する場合があります

※ **HP** で過去の番組を視聴できます

図 県知事室 ☎045(210)2038

「富士遠景」

写真：横浜市・渡邊 智さん

立石海岸からの朝焼けの富士山です。波打ち際の波を抑えて撮るため、シャッタースピードを長く設定して撮影しました。

- ▶ 場所：立石海岸（横須賀市）
- ▶ 撮影：令和6年12月

投稿写真募集中！
詳しくはこちら



編集／発行（毎月1日発行）

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

神奈川県 政策局 知事室

☎045(210)1111（代表）

☎045(210)3662 ㊟045(210)8834



県公式X(旧Twitter)
@KanagawaPref_PR

※記事は11月14日時点の内容であり、変更になる場合があります

感染症を予防しよう

感染症対策について詳しくはこちら



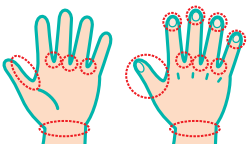
ノロウイルスについて詳しくはこちら



寒さが厳しくなり、空気が乾燥する冬は、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症、ノロウイルスなどの感染症が増加します。感染を広げないためには一人ひとりが感染経路を断つ取り組みが大切です。そのためには「**手洗い**」「**咳エチケット**」を心がけましょう。

正しい手洗い方法

🔴 は特に洗い残しが起こりやすい場所



1



流水で手を濡らし、せっけんをよく泡立て手のひらを洗う

2



手の甲を洗う

3



指先と爪の間を洗う

4



指をクロスさせて指の間を洗う

5



親指の付け根と手のひらをねじって洗う

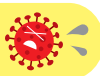
6



手首も忘れずに洗い、十分に水で流す

咳エチケット

ひまつ飛沫による感染症対策に



正しい方法



マスクを着用する
※鼻からあごまでを覆い、隙間がないようにつけましょう



ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う



とっさの時は上着の内側や袖で覆う

悪い事例



咳やくしゃみを手で押さえる



何もせずに咳やくしゃみをする

※高齢者・基礎疾患がある方・妊婦の方は重症化リスクが高いため、発熱などの不調を感じたら、速やかに医療機関を受診してください

かながわ救急相談センター

シャープ
電話 **#7119**

24時間365日対応 県内全域対応

年末年始は受診できる医療機関が限られます。

救急車を呼ぶべきか、病院に行くべきかなどで迷った際は、**#7119**をご利用ください。

緊急時は迷わず「119」へご連絡ください。

※☎045(232)7119または☎045(523)7119でもご案内しています

※聴覚に障がいのある方は㊟045(242)3808へ

詳しくはこちら



かながわ救急 パーソナルサポート

LINEからも利用できます。

友だち追加はこちら



【上記記事に関する問合せ】 感染症対策については県健康危機・感染症対策課 ☎045(285)0776 ㊟045(633)3770
かながわ救急相談センター（#7119）については県医療整備・人材課 ☎045(210)4874 ㊟045(210)8858

GREEN×EXPO 2027 開幕まで500日を切りました

GREEN×EXPO 2027のメインテーマ

「幸せを創る明日の風景」のもと、
県は、みんなで盛り上げ、みんなで創り、みんなが参加する
共創・参加型万博を目指して、準備を進めています。

2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)

令和9年3月19日～9月26日
旧上瀬谷通信施設(横浜市瀬谷区、旭区)



©Expo 2027
公式マスコットキャラクター
トウンクトゥンク

会場イメージ

【上記記事に関する問合せ】 県国際園芸博覧会推進室 ☎045(285)0373 ㊟045(210)8851

「花・緑ガイドボランティア」に参加しませんか /

募集人数 200人

活動内容 来場者に向けて、県出展エリアを含む会場内各所に設置された花壇の見どころ等を紹介する。

応募期限 12月22日(月)17時まで

募集要件 令和9年4月2日時点で満15歳以上の方
(中学生を除く)
8日以上活動していただける方

令和8年1月頃にも植物管理や運営のボランティアを募集予定です。



詳しくはこちら

日頃の活動を万博会場で発表しませんか /

お祭りや特産物などの地域の魅力発信や花育教室、活動発表等、県出展エリアを盛り上げる催事を募集します。

募集期間 12月1日(月)～令和8年1月30日(金)

募集対象 県内自治体や県内各地域で活動する団体等



詳しくはこちら